各戸配布

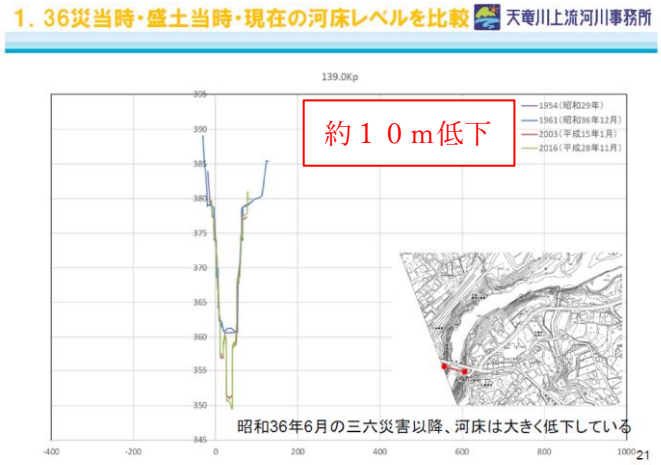
# 川路まちづくり役員会便り　第１１号

『豊かで活力ある安全安心な川路』の実現！　２０２１年（令和３年）９月２２日

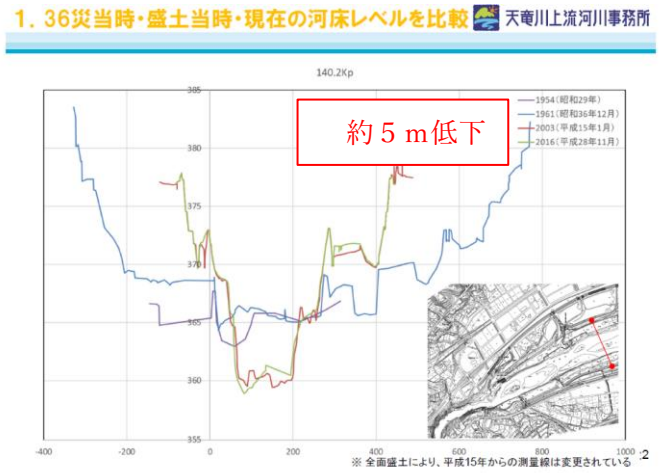
９月１４日天竜川上流河川事務所との学習会が実現しました。大変有意義な学習会になりました。

３６災６０年を機に、川路まちづくり委員会と水防組合は川路の治水に関して勉強会を持ち、その中で、判らない点をまとめて天竜川上流河川事務所に質問状として提出し、訪問の上教えて頂く段取りをしておりました。生憎コロナ禍の為、オンラインでの学習会となりましたが、丁寧に教えて頂く事が出来ました。私たちが今一番知りたいことは、最近の異常気象を見据えて、川路は果たして安全なのか？という点かと思います。学習会を通じて、安心できる材料と不安な材料が判って参りました。まず安心できる材料ですが、天竜川の河床掘削の状況をデータで教えて頂いた点です。右の３枚のグラフにあります様に、天龍峡姑射橋にて１０ｍ、留々女沢と相沢川の中間点付近で５ｍ、時又港付近で７ｍ河床が下がっている点です。その結果、天龍峡を通過可能な流量は、３６災の時３，２００㎥/s、５８災の時３，８００㎥/s でしたが、現在は４，０００㎥/s 以上あるとの説明でした。この天龍峡流下水量の計画値を計画高水と言いますが、昭和４８年制定の基本計画で４，５００㎥/s と決めましたが、平成２１年の整備計画で当面３０年の目標として４，０００㎥/s が発表されております。その目標を１２年程で達成できている点は安心できる材料です。しかし、基本方針はあくまで４，５００㎥/s であり、早期に目標を達成して頂く様にフォローする必要が有ります。不安な材料は昨今の異常気象です。国土交通省も無視できなくなり、平成２１年から１０年経ち、整備計画や進捗状況などの点検に入っています。その中で、一昨年の千曲川の豪雨等を分析し、天龍峡の基本ピーク高水を６，０００㎥/s とする試算も出されています。基本ピーク高水を改善するには、河床掘削及びダム建設による洪水調整能力の UP も含めて、流域全体で様々な取組が必要です。この点を２４日の飯田市長との懇談会でしっかりとお願いして参りたいと考えております。

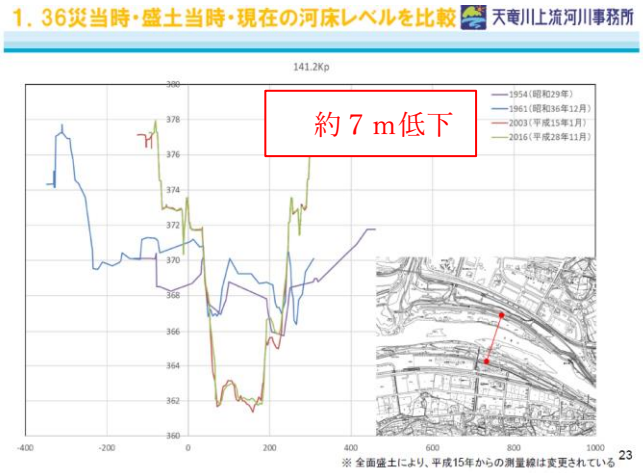
又天竜川上流河川事務所との勉強会を定期的に開催して、計画高水の改善状況を継続把握して参りたいと考えております。又、洪水時上流のダム群で調節可能な能力をお聞きしましたが、現在のダムの洪水をため込む容量は低下していないとのことで、戸草ダムの建設フォローを含め、ダムの見学・学習会を計画したいと考えております。




天龍峡姑射橋に於ける河床レベル比較




留々女沢・相沢川中間点に於ける河床レベル比較




時又港付近に於ける河床レベル比較

## 竜峡中学の生徒さんが菜の花の種まきに協力してくれました

種を撒く竜峡中「地域の未来と観光」講座の生徒さん

９月１７日小雨の中、竜峡中学の生徒の皆さんの協力を頂き、菜の花畑の種蒔きを実施しました。竜峡中学の１年生４人、２年生１３人、３年生８人合計２５名の生徒さんが参加してくれました。竜峡中学では「竜峡タイム」と呼ばれるテーマ毎の講座が有り、２５名の皆さんは、「地域の未来と観光」という講座で活動されております。菜の花栽培の活動を観光客を含めた地域の活性化に役立つ活動と認めて頂き、今回の支援活動となりました。他に「シニア大学４１期生」４人の方々も参加して頂き、「天龍峡アヴニール倶楽部」と「川路菜の花愛護会」の４つの組織が協力しての種まきとなりました。来年の春はきっと美しい菜の花を見る事が出来ると今から期待をしております。

## 市長と語るまちづくり懇談会

９月２４日佐藤市長をお迎えして、懇談会が行われます。昨年までは「市政懇談会」と呼ばれておりましたが、本年度より「まちづくり懇談会」略して「まち懇」と呼んでおります。川路まちづくり委員会からは、二つのメインテーマに関して状況説明とお願いをさせて頂きます。

一つ目のテーマは、前述の天竜川の治水に関して、以下の２点をお願いして参ります。

１．天竜川環境整備公社が行う土砂の掘削について、毎年確実な実施をお願いしたい。

２．これからの気候変動の中、確実に安全な川路をつくるため、戸草ダムの建設などを飯田市からも働きかけて頂きたい。

二つ目のテーマは川路の里山保全に関して。

川路の山林は住宅エリアの近場にあり、地区住民の多くが、この貴重な自然を里山として整備・保存して行くことを望んでいます。又治水の観点からも重要な役割を果たしております。一方最近の大きな課題として、相続の際山林を手放したい所有者が現れ始めていることが挙げられます。今後地区外の無責任な方に転売され、地区の皆さんが望まない様な開発が進むことを防いで行かなければなりません。

そこで飯田市に山林は個人の財産ですが、同時に地区全体の重要な財産として、どの様に管理して行ったら良いか、他地区の事例を踏まえ適切なアドバイスと支援をお願いして参ります。

## おむすび保育園の関係者と懇談会を持ちました

１歳から２歳の未満児保育「おむすび保育園」が始まって、半年がたちましたが、問題なく運営されているか、まちづくり委員会への要望は無いか、９月１７日関係者と懇談会を持ちました。樽沢園長さんから最近の状況を説明して頂きましたが、お陰様で大きな問題もなく、周りの皆さんの心遣いに支えられて順調に運営できている旨説明が有りました。特に川路保育園の配慮が有りがたく、付属保育園の様に接して頂いているとの事でした。毎日発行している「おむすびころりん」と名づけられた保護者宛のお便りを見せて頂きましたが、心温まるお便りで感心させられました。いつか機会を見て川路公民館に掲示して頂く事をお願いしました。

「おむすび保育園」毎日発行のお便り